



校旗のもとに

学校教育目標
仲良く
本気で
最後までがんばる子

勝瀬小学校 三つの心「チャレンジする心 がまんする心 豊かな心」

1年間、ありがとうございました

校長 藤井文則

3月には、とても大切な2つの行事がありました。一つ目は3月2日の6年生を送る会です。子供たちに「3学期は、学校中をありがとうでいっぱいしましょう」と始業式から語りかけてきましたが、この6送会はその集大成でした。どの学年も、工夫を凝らした出し物を披露し、6年生への感謝の気持ちを表しました。開会式では、「ありがとうを伝えることも大切、ありがとうを素直に受け取る心も大切」という話をしたのですが、まさに6年生は素晴らしい態度で、最後まで学校の代表として下級生の見本となってくれました。今年度は保護者と学校運営支援者協議会(町会長さんや歴代PTA会長、民生委員代表等、学校を支援して下さる方々の集まりです。)の皆さんにも参観していただき、勝瀬小のチームワークの良さを感じていただくことができました。

もう一つの行事は、3月14日に行われた、引継ぎ式です。6年生の卒業式予行に5年生が参加し、最高学年の自信と誇りを引き継ぐ式です。6年生には、卒業式の練習に向けて「態度や返事に、皆さんの6年間を表せるよう取り組んでください」と話をしました。6年生は、素晴らしい態度で練習を積み重ね、引継ぎ式でも5年生に最高学年としての自信と誇りを見せてくれました。それに、5年生もしっかりと応え、素晴らしい態度で式に臨むことができました。来年も新6年生を中心に勝瀬小の伝統を引き継ぐとともに、さらにパワーアップすること間違いなし!…と感じさせてくれました。

8フェスもがんばりました



ありがとう
ございました

本年度も1年間を通して、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございました。ご家庭の支えがあるからこそ、子供たちは毎日の学習に、多くの行事に、生き生きと取り組む事ができました。また、PTA本部を中心に「かつせ助っ人団」にも多くの方にご参加いただいたおかげで、子供たちの安全の確保、より充実した指導を推し進める事ができました。来年度もチーム勝瀬として力を合わせて「仲良く 本気で 最後までがんばる子」の育成に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

卒業式式辞 要旨

健康と愛情はどちらが大切ですか?どんなに健康でも、一人で孤独に生活しては意味がないので愛情と答える人もいるでしょう。たくさんの愛情を持った人が自分の周りにいても、健康でなければやりたいことは制限されてしまうので健康と答える人もいるでしょう。皆さんはどちらですか「どちらですか」と聞かれてしまうと、どちらの考えの方が素晴らしいのかと人は考えがちです。しかし、当たり前のことなのですが、本当はどちらも大切にすることのほうがいいですね。みなさんが5年生の時に、SDGsへの取組について、谷口たかひろさんの話を聞いたのを覚えていますか。谷口さんの話の中に「正義の敵は何だと思いませんか?正義の敵は悪ではなく、違う価値観の正義です」という言葉がありました。これからは多様化の時代と言われています。たくさんの価値観が認められ、大切にされる時代です。違う価値観や初めての価値観と出会ったときに、自分の価値観だけを主張していれば分断が起きてしまうかもしれません。だからこそ、正しいと思う価値観、大切だと思う価値観、先ほど話した愛情と健康についても、どちらも大切にするにはどうしたらいいのか、どう歩み寄ればいいのかを考えられる人になってください。最後に、毎年卒業式にはこの話をしています。中学校という次のステージに進む皆さんですが、決して中学校1年生にはなっても、0年生にはならないでください。小学校で積み重ねてきたリーダーとしての経験を忘れないでください。中学生になってリードしてくれる先輩達をどのようにフォローすればいいのか、1年生として学校全体を盛り上げるにはどのように行動すればいいのか、リーダーとして、経験してきたことを思い出せば絶対に0にはならないはず。勝瀬小で手に入れた自信と誇りを胸に次のステージでワンランク上の活躍をしてください。



※6年生(卒業生)には3月22日(金)に配付しています。